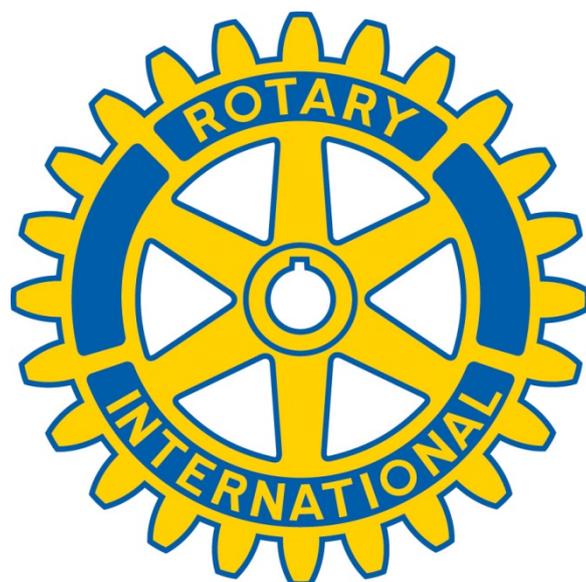


<岡崎城南ロータリークラブ要覧>

★ロータリーの理解のために



2011-12 年度会長 桐渕利次

<目次>

はじめに	3
ロータリーとは・・・ (A Definition Of Rotary)	4
I) ロータリーの歴史	4
II) 綱領 (The Object of Rotary)	5
III) ロータリアンの義務	
IV) ロータリアンの特典	
ロータリー年度	6
ロータリー会員増強の問題点	7
出席免除会員	8
RI および RI 財団の役員報酬などの疑問に対して	8
ニコボックスとその「申し合わせ事項」について	9
ロータリー用語の紹介	11
SAA (Sergeant-at-Arms) 会場監督	13
RI の審議機関とクラブの位置付け	14
RI 長期計画	17
RI 強調月間と特別例会・家族例会	18
家族例会の記録	19
「奉仕の理想」岡崎城南 RC バージョン 2011-12	20
職場例会の記録	21
職業奉仕と高い道德水準の実践	24
社会奉仕活動の記録と現況	25
ロータリーの支援する外国人留学生	29
米山記念奨学会の歴史	30
ロータリー米山記念奨学会事業	32
クラブの米山交換留学生	33
ロータリー財団	34
新世代「理科の実験教室」	36
地区 RYLA セミナー開催状況	38
新地区補助金	40

<はじめに>

ロータリークラブ（以下 RC）は、
2011 年 3 月 31 日国際ロータリー（以下 RI）の公式発表によれば、
世界 1,217,668 万人、約 121 万人のロータリアン、クラブ数 34,049、
200 以上の国と地域に広がります。

全世界を 34 のゾーン Zone に分け（1 ゾーン当たりの会員数は約
35,000 人）、ゾーンの指名委員会によって選出され、国際大会で
選挙された 17 人の理事、国際ロータリー会長、RI 会長エレクトを
加えた計 19 人により理事会が構成されます。

2011-12 年度理事会には 2 名の日本人が入っています。

- ・ RI 会長エレクト 田中作次
- ・ 2010-12 年度（任期 2 年）理事 近藤雅臣

日本のロータリーは、2011 年 4 月の発表では、クラブ数 2,301、
会員数 90,269 人です。日本では 3 ゾーン、34 地区に分かれます。

当クラブは日本の第 2 ゾーン、RI 第 2760 地区に所属します。
この地区の中に、クラブが 82、会員数が 4,946 人（2011 年 4 月末）、
5,000 人突破が現在地区の目標になっています。

地区の代表がガバナーで毎年 8-11 月ガバナー公式訪問がありま
す。

- ・ 4 月に「地区協議会」；次年度の RI 会長、ガバナー方針発表
- ・ 11 月に「地区大会」；RI 会長代理メッセージならびに現況報告
記念事業発表、顕彰、特別講演他

地区はさらに 8 分区に分かれ、当クラブは西三河中分区に所属
します。中分区には岡崎 4RC と豊田 5RC からなる 9RC があります。
分区の連携と親睦を図るために、9RC で IM(下記)、会長・幹事会、
ゴルフ大会などが行われています。分区の代表がガバナー補佐で、
ガバナー公式訪問に先駆けて、ガバナー補佐訪問があります。

- ・ 「IM (Intercity Meeting)都市連合会」；2 月 19 日（土）

<ロータリーとは・・・ (A Definition Of Rotary) >

職業に従事する者同士が親睦を深め、自己を磨き、奉仕の理想を実践していく世界的な団体である。

I) ロータリーの歴史

- ・ 1905. 2. 23 ; シカゴ RC 誕生 (ポール・ハリスと友人 3 名)
- ・ 1920. 10. 20 ; 東京 RC 創立 (米山梅吉会長)
- 1921. 4. 1 ; 世界で 855 番目のクラブとして認証
- ・ 1925. 2. 7 ; 名古屋 RC 創立 (スポンサー東京 RC)
- ・ 1950. 8. 26 ; 豊橋 RC 創立 (スポンサー名古屋 RC)
- ・ 1951. 6. 8 ; 岡崎 RC 創立 (スポンサー豊橋 RC)
- ・ 1964. 11. 12 ; 岡崎南 RC 創立 (スポンサー岡崎 RC)
- ・ 1973. 5. 2 ; 岡崎東 RC 創立 (スポンサー岡崎 RC)
- ・ 1989. 3. 7 ; 岡崎城南 RC 創立 (スポンサー岡崎南 RC)
- 3. 22 ; RI 加盟認証 (有馬惟夫会長、会員 5 1 名)
- 11. 7 ; 認証状伝達式、会津若松城南 RC と姉妹提携
- ・ 1993. 11. 6-8 ; 地区大会 CO-HOST を務める
- ・ 1993-94
- 94. 3. 19 ; 5 周年記念式典
- 4 月 ; 岡崎ローターアクトの共同提唱クラブとなる
- ・ 1998. 2. 28 ; IM ホストを務める
- ・ 1998-99
- 99. 3. 16 ; 創立 10 周年記念式典
- ・ 2000. 10. 6 ; 全国城南会参加 (東京城南 RC 主催)
- ・ 2003-04 年度 ;
- 04. 3. 16 ; 創立 15 周年記念式典
- ・ 2005. 6. 4 ; ロータリー 100 周年記念事業 (岡崎 4RC)
- ・ 2008-09 年度 ;
- 08. 11. 8-9 ; 地区 RYLA セミナー開催 (ホストクラブ)
- 09. 3. 3 ; 創立 20 周年記念式典
- ・ 2013-14 年度 ; 創立 25 周年記念式典 (予定)

II) 綱領 (The Object of Rotary) ; 1910 年作成

組織の目的と会員の責務に関する明確な定義を提供するもの
(岡崎城南 RC 定款とロータリーの友 2010 年 8 月号より抜粋)
ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある。

第 1; 奉仕の機会として知り合いを広めること。(ロータリーの友)

第 2 ; 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。

あらゆる有能(有用)な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。(職業の尊重と品位)

第 3 ; ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。(奉仕の理想)

第 4 ; 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

(世界の平和)

III) ロータリアンの義務

1) RI 並びに RC の定款・細則を遵守すること

2) 会費の納入

*3) 例会への出席(メーキャップ)

4) 新会員の推薦

5) 委員会活動、その他ロータリー・プログラムに参加すること

*6) 「ロータリーの友」を購読すること(「ザ・ロータリアン」)

7) その他

*・入会 3 年未満の会員は地区大会、地区協議会、IM に出席する
・ロータリー襟章をつけ、ロータリー標語に沿った品格を目指す

IV) ロータリアンの特典

1) 全世界 120 数万人のロータリーの友を得ること

2) 全世界の RC 例会、ロータリーの会合に出席できること

3) ロータリーの奉仕活動に参加できること

4) ロータリアンの推薦者となれること

＜ロータリー年度；7月から翌年6月までの一例＞

前年12月、指名委員会の指名に基づき、年次総会にて役員・理事が選出される。各年度の準備は、毎年1月頃より始まる。

第1回予備理事会；1月25日（火）例会後

＜IM（Intercity Meeting）＞；2月19日（土）

第2回予備理事会；2月22日（火）例会後

第3回予備理事会；3月15日（火）例会後

★会長エレクト研修セミナー（PETS）；次期会長・幹事出席

3月13日（日）名鉄グランドホテル

第4回予備理事会；4月5日（火）例会後

＜地区協議会＞；4月16日、次期RI会長、ガバナー方針発表

第1回クラブアッセンブリー；4月19日（火）例会後会長方針発表

第5回予備理事会；5月15日（火）例会後

第2回クラブアッセンブリー；6月14日（火）例会後

委員長年次計画発表

第6回予備理事会；6月21日（火）例会後、予算案

第7回予備理事会（持ち回り）；6月28日（火）予算案決定

クラブフォーラム；7月第1回例会、クラブの会長方針を発表

第2-4例会、委員長年次計画発表

★第3回クラブアッセンブリー；9月27日ガバナー補佐訪問

★ガバナー公式訪問；10月18日正午、岡崎南RCとの合同例会

＜地区大会＞；11月19-20日

クラブフォーラム；ミャンマー報告会

第4回クラブアッセンブリー；2012年5月8日（火）委員会引継

<ロータリー会員増強の問題点>

ここに一つのデーター、RI の調査結果がある。2010 年 4 月 18 日地区協議会第 9 分科会資料によれば、退会者の三大共通点は、

- ・「クラブに指導性がない」
- ・「志をもって入ったが、クラブに奉仕がない」
- ・「クラブに魅力がない」

という会員の迷いである。

リーマン・ショック以降、会員減少は世界中でみられるが、我が国の減少率はすでに 10 年も前から確実に段階的に認められる。

過去 5 年間の会員減少率は、

第 1 位 ; 日本 30%

第 2 位 ; オーストラリア 6%

第 3 位 ; ラテンアメリカ 2%

を大きく離している

- ・クラブに真の魅力を感じる運営がなされているか
- ・本業を犠牲にして駆けつけるに足るアドバンテージが感じられる例会かどうか

年間 7500 人の新加入が全国で行われ、約 8% の会員が年間に増加しているが、9000 人の会員を失っている (9. 6% 減)。クラブに入った新会員を維持 Member Retention することができていないのが現状である。

クラブ・リーダーシップ・プラン CLP はこの一つの対策としてクラブの活性化のために提案されたものである。

<出席免除会員>

年齢が 65 歳以上で、ロータリー歴と会員の年齢の合計が 85 年以上となる会員が書面をもって幹事に通告し、理事会が承認した場合には、出席規定の適用は免除される。当クラブでは現在 18 名、会員 73 名の約 1/4 を占めている。実際に現場の委員会では、これらのベテラン会員に対して、若輩委員長がどのように役割をお願いすべきか途惑う声を耳にすることが多い。

これらの出席免除会員に対して、委員長が若輩または未経験者であっても、委員会内の役割を各委員に平等に指示、運営できるように、会員も協力したい。また、出席免除会員もロータリアンとしての義務・責任を確認し、例会・委員会活動、その他のロータリー・プログラムに臨んでいただきたい。

<RI および RI 財団の役員報酬などの疑問に対して>

”他人の金で奉仕するという虚構” (佐藤千尋)

「金集めの為の商業化にも傾斜する」ことへの警告

「人類が私たちの仕事」などと公言して、公私混同の公金濫費をする RI 会長の出現・・・に関する記載

(日本のロータリアン第一人者の遺稿 2008 年地区大会記録誌より)

「ロータリーの運営が RI の官僚的主導であるという誤解」；

ロータリーは、RI からもたらされる指示と情報で動くのではない。ロータリーが 100 年以上も続き、なお進化を遂げている最大の原動力は”規定審議会”、その制定事項・決議事項が常に今日的な要望と本来の理念に適合するように手直しされてきたことにある。
(2010.4.18 地区協議会第 9 分科会資料より一部抜粋)

規定審議会の構成；現在 3 年毎にシカゴで開催される立法機関・投票権を持つ議員；各地区からの代表議員

2010 年開催時は 531 地区、日本の地区数は 34 (6.4%)

・投票権を持たない議員；RI 会長以下役員

<ニコボックスとその「申し合わせ事項」について>

1) ニコボックスの由来と「申し合わせ事項」

・一般に、ニコニコ箱(スマイル・ボックス Smile Box)は、例会場で会員が自由意志で善意の寄付金を入れる箱、1936年(?)大阪 RC で初めて実施されたロータリー特有のものである。

(「ロータリー情報マニュアル」より)

- ・昭和6年、1931年大阪 RC の藤原ロータリアンが創案者
(罰金箱として)

昭和10年、1935年東京 RC の関幸重ロータリアンが考案

(関幸重；三越本店裏のラシャ問屋上村伝助商店の大番頭)

「当時の社会奉仕委員が東京ロータリーホームの子供達を多摩川園へ招待しようと立案したが、お金がない。充当できる特別会計がなく、普通会計の会費を転用するわけにはいかないところ、関氏があり合わせのボール箱を取り出し、会員の席をまわり、軽妙洒脱に会員の慶事を取り上げて財布の紐を解かせ、600円の募金を集めた。

以後、何かあるごとにボール箱を持ち出し、おめでたいことの自祝の金をあつめて、これを社会奉仕の財源にしたのがニコニコ箱の起こりである。三越に、恵比寿の像を彫った木箱を作らせたのが第一号で、恵比寿像も剥落しているが、今でも東京クラブでは使われている。」 (大村北 RC 「ロータリーの森を歩く」より)

2) ニコニコ箱会計は、会員が受益者とならない社会奉仕、国際奉仕委員会(+新世代奉仕)およびその特定分野委員会費用であり、主として団体奉仕活動の資金として支出し、前年度のニコニコ箱収入総額を支出の限度額として予算化する。

(RI 第2650地区編集、「わかりやすいロータリー」より)

3) 当クラブの「申し合わせ事項」

- a. (3) 項 (b) ; 会員誕生日、奥様記念日、結婚記念日
および (c) ; 年度内に金婚式、銀婚式、
還暦、古稀、喜寿 (満年齢)

以上に該当の場合には、3,000 円以上とする。

- b. その他一般・慶弔事については、1,000 円以上とする。

(「申し合わせ」開始は不明、1998 年以降は年次計画書に記載あり)

#但し、2000-2001 年度年次計画書では、慶事を 27 項目に分け、
すべて 1000 円以上とした (?) 委員長 (退会者) あり、以後、申
し合わせ事項に誤解が生じているようであれば是正したい。

＜ロータリー用語の紹介＞

- 「奉仕の理想」 ” The Ideal of Service” ;
「ロータリーの綱領 The Object of Rotary (1918 年以降) 」
- 「超我の奉仕」 ”Service above self” ;
1911 年ポートランド国際大会において、 B. フランクリン・コリンズ Benjamin Frank Collins(米国ミネアポリス RC)が、
” Service, not self” (無私の奉仕) を強調した。
1950 年デトロイト国際大会でロータリーの公式モットーとなり、1989 年規定審議会でロータリーの第 1 標語に指定された。
- 「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」
”He profits most who serves best” ;
1910 年、アーサー・フレデリック・シェルドン Arthur Frederick Sheldon(シカゴ RC) による提唱
1950 年デトロイト国際大会で承認された標語の原型となる。
He・They (2004 年) ・ He/She (2007 年) ・ One (2010 年) 改訂
- 「ロータリーにノーはない」 ” To do your part when called upon” ;
「ロータリー通解」 ” A Talking Knowledge of Rotary”
1916 年、理論教育委員長ガイ・ガンディカー Guy Gundaker
1923-24 年 RI 会長 (米国フィラデルフィア RC)
(「ロータリーの心得」、2680 地区 PG 田中毅翻訳 ;
「求めに応じて、本分を尽くすこと」)
- 「決議 23-34」 ” Resolution 23-34” ;
1923 年セントルイス大会第 34 号議案社会奉仕に関する年の声明
(第 2 危機 ; 理論派と実践派の論争、職業奉仕と社会奉仕の対立)

- 「4つのテスト」 ” The Four -Way Test” ;

1954年 RI 会長

ハーバート・J・テイラー Herbert J. Taylor (シカゴ RC) 創案

1932年倒産寸前の会社の再建を任されたときに、モラルの向上の目的で作られたもの、後に(1942年、1946年?)著作権などをロータリーに寄付

- 1) Is it the truth? 「真実かどうか」 ;

嘘偽りがないか?

- 2) Is it fair to all concerned? 「みんなに公平か」 ;

すべての取引先に公正か?

- 3) Will it build goodwill and better friendship?

「好意と友情を深めるか」 ;

職業上の信用を築き、友好を深めるか?

- 4) Will it be beneficial to all concerned?

「みんなのためになるかどうか」 ;

すべての取引先が利潤を得るか?

(ロータリー情報マニュアルより)

- 「入りて学び、出でて奉仕せよ」

” Enter to learn, go forth to serve” ;

1947-48年 RI 会長

S. ケンドリック・ガーンジー S. Kendrick Guernsey

(米国ジャクソンビル RC) 、

< SAA (Sergeant-at-Arms) 会場監督 >

会場監督の任務は通常その職に付随する任務、およびその他会長または理事会によって定められる任務とする。(岡崎城南 RC 細則)

SAA は、例会をはじめすべての会議が楽しく、秩序正しく運営されるよう常に心を配り、気品と風紀を守り、会合がその使命を発揮できるように設営、監督する責任を有する人

(ロータリー情報マニュアル)

SAA は審議機関としての権限しかもっていない理事会メンバーを超越した例会場における最高の権限を持つ執行機関の役員である

SAA の役割 ;

- ・ 「例会場への入場、退場許可、例会場の開門、閉門」
- ・ 「早退、遅刻の承認や拒否」
- ・ 「私語に対する警告」
- ・ 「その他例会の秩序を乱す行為に対して警告と退場命令を下す」
- ・ 「例会に関する講評」 (わかりやすいロータリー)

<RI の審議機関とクラブの位置付け>

I) 規定審議会の歴史的経緯；

1911-29 年；国際大会（年次大会）で代表議員が審議

1930 年；規模が拡大し、国際大会に立法案と推奨決定を
あらかじめ提言する機関が必要となった。

1934 年；第 1 回規定審議会が立法案を審議、国際大会に提案する
「諮問機関」となる。当初は毎年開催。

1954 年；偶数年で開催

1970 年；立法機関を規定審議会一本化することを採択

- ・規定審議会は RI の正式な立法機関となる
- ・国際大会は規定審議会決定の再審議機能を有する

1972 年；同一本化開始

1974 年；現在と同様 3 年毎に開催

1983 年；初めてアメリカ国外、モナコで開催

15 年間世界各地で開催

1992 年；別の国で 2 回開催されるまで同一国での開催はないこと
を採択

1998 年；国際大会は RI の立法事項を審議しないことを採択

規定審議会の再審議は全クラブによる郵便投票によるもの
となる。

2001 年；RI 世界本部の近隣地域において開催することを採択

今後規定審議会は常時シカゴで開催されることが決議された。

II) 規定審議会の構成；

- ・投票権を持つ議員；

各地区からの代表議員

2010 年開催時は 531 地区（日本の地区数は 34、6.4%占める）

代表議員として規定審議会に 3 回を越えて出席できない

- ・投票権を持たない議員；

RI 会長以下役員、但し、可否同数の場合には議長または副議
長は 1 票を投じることができる

Ⅲ) 立法案；

- ・「制定案」；RI 定款、細則、標準クラブ定款改正を目的とする
- ・「決議案」；意見の表明や RI 理事会への要請を目的とする

立法案提出者；クラブ、地区大会、RIBI 審議会（リビ審議会）、
RIBI 大会、規定審議会、理事会

(RIBI；グレート・ブリテン及びアイルランド内国際ロータリー)

クラブからの立法案は、地区大会もしくは郵便投票にて地区の審議を必要とする。立法案の提案者は主旨および効果に関する声明文を 300 語以内で提出する。規定審議会が開催されるロータリー一年度の前年度の 12 月 31 日までに事務総長まで提出。地区当たり最多 5 件までとする。

Ⅳ) RI 理事会に対する建議案；

規定審議会に決議案を提出する代わりに、クラブまたは地区は、RI 理事会に建議案を提出することができる。多くの場合、より効果的に、より速やかに達成することができる。

Ⅴ) RI 理事会 Board of Directors(RI)；

19 のメンバー、理事会の議長である会長、会長エレクト、
17 名の理事から構成される。

17 名の理事は、細則に明記されている全世界 34 のゾーン Zone(2009 年より日本は 3 つのゾーン、アジアのゾーン数は 7、1 ゾーン当たりの会員数は約 35,000 人)内のクラブから指名され、国際大会で全クラブによって選挙される。任期は 2 年。

国際大会の都度、投票に参加するのは各クラブの義務である。

VI) 選挙人 Elector ;

- ・ 正当な信任状をもつ代議員

(クラブ 50 名毎に 1 名、

端数が 26 名以上の場合さらに 1 名の代議員を送る権利を有す)

- ・ 委任状保持者 (クラブが直接投票に参加できない場合)
- ・ 特別代議員 (RI 役員、元会長)

VII) 理事指名委員会 Nominating Committee for Directors ;

ゾーン内の各地区から 1 名選挙された委員で構成される。任期 1 年。1 票投票権を有する。

VIII) 会長指名委員会 Nominating Committee for President ;

RI 理事指名のために理事会が定めた全世界 34 のゾーンから選挙された 17 名の委員によって構成される。

- ・ 偶数年には各奇数ゾーンから 1 名ずつ選挙される
- ・ 奇数年には各偶数ゾーンから 1 名ずつ選挙される
- ・ RIBI ゾーン内の 1 名は、RIBI の定める方法により選挙される

IX) 規定審議会の一つの決定とその 3 年後の修正について

- ・ 2001 年シカゴ規定審議会 ;

RI 会長および会長エレクトに対して、毎年感謝の意の表明として理事会が定める一定額の金銭の支払いを認め、「事務総長が報酬を受ける唯一の役員である」という規定から「唯一」という文言を削除した。

- ・ 2004 年シカゴ規定審議会 ;

上記金銭の支払いを廃止し、事務総長を報酬を受ける「唯一の」役員と再確認した。

(ロータリー情報マニュアル)

<RI 長期計画；2010年7月-2013年6月までの3年間>

I) クラブのサポートと強化 (2011. 7. 1. より実施)

II) 人道的奉仕の重点化と増加

III) 公共イメージと認知度の向上*

- ・イメージとブランド認知を調和させる
- ・行動を主体とした奉仕を推進する
- ・中核となる価値観を推進する

①奉仕 Service ; 標語「超我の奉仕」” Service Above Self”

②親睦 Fellowship

③多様性 Diversity ;

「ロータリーは奉仕の理想の下にすべての人々を国際的に結束させると私たちは信じている。私たちは、会員組織において、また活動や奉仕において、職業の多様性を信じている。事業や専門職務の社会を反映させているクラブが将来の鍵を握るクラブである。」

④高潔性 Integrity

「私たちは、活動の結果について、また、目標達成の過程においても、私たちのリーダーや同僚会員が説明責任を果たすことを約束し、期待している。私たちは、仕事においても人間関係においても、倫理と職業の観点から、常に高い基準を固く守っている。私たちは、公平さと尊敬の念を保ちながら人々と付き合い、また、私たちに託されたリソース（資源）を良心的に管理する。」

⑤リーダーシップ Leadership

- ・職業奉仕の理想を強調する
- ・クラブにおけるネットワークづくりの機会ならびにクラブ独自の主な活動について周知をはかるようにクラブに奨励する

使命；私たちは他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務、および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。

<RI 強調月間と特別例会・家族例会>

一例；季節感のある特別例会と家族例会(2011-12年度)

RI 強調月間	特別例会
7月；	七夕例会
8月；会員増強および拡大月間	納涼例会（ビヤガーデン）
9月；新世代のための月間	月見例会、家族例会
10月；職業奉仕月間、米山月間	秋祭例会、職場例会
11月；ロータリー財団月間	紅葉狩り例会
12月；家族月間	年末家族例会
1月；ロータリー理解推進月間	新春例会
2月；世界理解月間	節分例会
3月；識字率向上月間	創立記念例会
4月；雑誌月間	花見家族例会
5月；	新緑例会
6月；ロータリー親睦活動月間	最終例会

<家族例会の記録>

();親睦活動委員長

- 1999-2000年; 2000. 5. 21 山共建設山荘バーベキューと蕎麦打ち
(清水進)
- 2000-2001年; 2001. 4. 14 「六本木」ハワイアの夕べ (鈴木豊)
- 2001-2002年; 2001. 10. 21 駒ヶ根リンゴ狩り (近藤保則)
2002. 5. 26 リンクス、ラグーナ
- 2002-2003年; 2002. 10. 22 大井川 SL 列車の旅 (岩崎孝三)
- 2003-2004年; 2004. 4. 25 浜名湖花博 (澤田道明)
- 2004-2005年; 2005. 5. 22 愛・地球博 EXPO ロータリー館での例会
(藤田重行)
- 2005-2006年; 2005. 8. 21 万博ロタリー館 (市橋伸夫)
- 2006-2007年; 2007. 5. 27 バーベキュー大会 (高木潤一郎)
- 2007-2008年; (佐々木靖史)
- 2008-2009年; 2008. 8. 24 「マンマ・ミーア」 (近藤憲康)
- 2009-2010年; 2009. 11. 3 コロッセ特別講演 (永井量基)
- 2010-2011年; 2010. 8. 29 「オペラ座の怪人」 (松永茂夫)

(年次報告書)

<「奉仕の理想」岡崎城南 RC バージョン 2011-12>

1)

桜吹雪の 古城を背負いて
川面に浮かぶ 夏の夜の花火
またたく一年 秋は色づき
凍てつく風に いざ向かいしは
我ら岡崎城南ロータリー、ロータリー

2)

歴史ある街に 誇りを抱いて
真実 公平 常に問いかけて
永遠の友情 奉仕の誓い
手に手つないでいざ今日もまた
我ら岡崎城南ロータリー、ロータリー

3)

入りては学び 出でては奉仕
重ねし年月 絆は強く
奉仕の理想に 更なる誓い
川の岸辺にぞ いざ集いしは
我ら岡崎城南ロータリー、ロータリー

< 職場例会の記録 >

年度	委員長	職場見学・例会場
会長	職業奉仕	
幹事	職業情報	
	活動表彰	

0) -89

有馬惟夫 永野彦麿
近藤敬道

1) 89-90

有馬惟夫 永野彦麿
近藤敬道

2) 90-91

橋爪秀夫 中根啓弼 ① (宗) 愛宕山弘正寺 (小野智範)
近藤敬道 ② (株) 紳士服のコクボ (小久保逸巳)

3) 91-92

杉浦勇作 小林通利
牧野正高

4) 92-93

仲井 豊 小山章仁 ① 岡崎信用金庫本店 1993. 11. 17
青山昇治 ② 岡崎市消防本部 1994. 05. 25

5) 93-94

中根啓弼 長野哲也 ① 岡崎医療刑務所 1993. 11. 16
四十万谷 柴田歳近 ② 岡崎市医師会館 1994. 0426
岡田吉生

6) 94-95

新 欣也 志貴一仁 ① 高年者センター岡崎 1994. 1025
藤江頭次 白井 翼 ② 岡崎カントリー倶楽部 1995. 0425

7) 95-96

野村栄三 小野智範 ① (株) オリバー 1995. 1024
加藤順弘 太田政信 ② イズモ葬祭センター 1996. 0319

堂前慎治

8) 96-97

神谷欣臣 中根常彦 ①まるや八丁味噌
小山章仁 榑原恒夫 ②中央クリーンセンター
加藤陽一

9) 97-98

宮島好弘 糟谷幸二 ①三葵（株）
小出浩義 早川義夫 ②丸石醸造（株）
吉見敬功

10) 98-99

近藤敬道 鈴木貞毅 ①岡崎公衆衛生センター（二宮敬宇）
加藤陽一 山本剛司 ②岡崎ニューグランドホテル（蟹江道祐）
吉倉勝二

11) 99-00

中山泰巳 山本敏之 ①岡崎商工会議所 1999. 10. 26
岡田吉生 吉見功敬 ②竜美丘テニスクラブ（千賀邦二）
岩崎孝三 2000. 03. 21

12) 00-01

田中暉登 金森徹夫 ①岡崎椅子（株）（太田政信）
青山幸市 市川嘉清 ②社会福祉法人米山寮・竜美丘会館
青山昇治

13) 01-02

小野智範 吉倉勝二 ①中部保全（株）エコプラザ（近藤敬道）
中根常彦 永野彦磨 ②（株）フジケン（鋤柄義行）
牧野正高

14) 02-03

太田政信 加藤豊生 近藤石材店（近藤保則）
近藤正俊 四十万谷
加藤豊生

15) 03-04

加藤順弘	柴田歳近	小林工業（株）（小林通利）
天野邦彦	堂前慎治	・南部市民センター
	牧野正高	

16) 04-05

小出浩義	青山幸市	磯部ろうそく店（磯部亮次）
永田裕	榊原恒夫	西照寺（和田章）
	高木潤一郎	・魚清（和蠟燭の灯り、般若湯の会）

17) 05-06

藤江颯次	佐々木靖史	岡崎技研（株）（天野邦彦）
近藤憲康	松井孝王	・岡崎高砂殿

18) 06-07

二宮敬宇	井上武彦	ブラザー印刷（株）新社屋（岡田吉生）
澤田道明	都築 孝	

19) 07-08

加藤豊生	山本信一	第二みやこ幼稚園（青山秋男園長）
近藤保則	杉浦節雄	

20) 08-09

近藤正俊	和田 章	クラタ産業（株）
松井孝王	岩崎孝三	ウイングタウン「おくりびと」鑑賞

21) 09-10

岡田吉生	岩崎孝三	岡崎信用金庫本店
市橋伸夫	太田三伸	

22) 10-11

長野哲也	永井量基	①岡崎市立図書館 リブラ
千賀邦二	杉浦節雄	②弘正寺ソサイエあたごホール
		（小野智範）2011.03.22

23) 11-12

桐渕利次	澤田道明	岡崎女子短期大学（永井量基）
山本剛司	永坂博彦	児童文化研究部 2011.10.24

＜職業奉仕と高い道德水準の実践＞

①「四つのテスト」；1932年ハーバート J・テイラーによる
言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか（「嘘偽りがないかどうか」）
- 2、みんなに公平か（すべての取引先に対して公正かどうか）
- 3、好意と友情を深めるか

（商取引が店の信用を高めると同時に、より良い人間
関係を築き上げ、取引先を増やすかどうか）

- 4、みんなのためになるかどうか

（商取引によって、すべての取引先が適正な利潤をうるか）

②ロータリアンの職業宣言（1989年規定審議会）

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、私には以下
のごとく行動することが求められている。

- 1、職業は奉仕の一つの機会であると考えること。
- 2、職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德規準に対し、
名実ともに忠実であること。
- 3、職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理
基準を推進するために全力を尽くすこと。
- 4、雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業また
は専門職務上関係を持つすべての人々に対し、公正であること。
- 5、社会に役立つすべての仕事に対し、それに伴う名誉を認め、
敬意を表すること。
- 6、自己の職業上の才能を捧げて、青少年に機会を開き、他者の
特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めること。
- 7、広告に際して、また自己の事業または専門職務について人々
に伝える際には、正直を貫くこと。
- 8、事業または専門職務上の関係において、普通には得られない
便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めたり、与えたりしな
いこと。

< 社会奉仕活動の記録と現況 >

< 1989-90 >

- ・ 重度身障者（額田岡崎心理療育親の会）合宿訓練の募金活動
- ・ 岡崎市民チャリティー芸能祭への協賛（以後 1992-93 年度まで）

< 1990-91 >

- ・ 1991-92 幸田町立北部中学校（新設校）へ植樹；177,984
- ・ よい歯の児童生徒の表彰；41,200
- ・ 市美術展への協賛；15,000（現在に至る）

< 1991-92 > 不明

< 1992-93 >

- ・ 岡崎盲学校創立 90 周年記念協力
- ・ 健康フェア
- ・ 赤い羽根募金
- ・ 緑化推進運動に協賛

< 1993-94 >

- ・ 北海道南西部沖地震に対する特別義援金に協力
- ・ 鹿児島県豪雨による水害義援金に協力
- ・ 岡崎 RAC のチャリティーバザーへの協力（以後現在まで）

< 1994-95 >

- ・ 毎月第 1 例会をノーカーデーとする（以後 1995-96 年度まで）
- ・ 「マンガで見る環境白書」岡崎、幸田、額田の小中学校へ贈呈
- ・ JR 写真展の協賛
- ・ 阪神大震災義援金協力

< 1995-96 >

- ・ 麻薬覚醒剤など防止運動「ダメ、ゼッタイ」国連支援募金協賛

< 1996-97 >

- ・ (財)アジア保健研修財団賛助会員として寄付

< 1997-98 >

- ・ 岡崎 4RC 合同環境保全事業開催（ロータリー環境週間）
 - ・ 環境保全講演会開催 講師佐々木靖史慎一「人類の未来とは」

- ・岡崎市環境保全課へ4RC合同にて100万円寄付

RI 決議；「環境保全を目指し。絶滅の危機に瀕する動植物を保護する行動を支援するのは、ロータリアン一人一人の責務である」

<1998-99、創立10周年記念事業>

- ・「新米山寮せきれいの郷建設募金」
建設募金缶による募金活動（以後2002-03年度まで）
- ・再生紙、再生コピー紙の使用奨励

<1999-2000>

- ・「新米山寮せきれいの郷建設募金」、継続

<2000-01>

- ・毎月第1例会をノーカードとする
- ・「新米山寮せきれいの郷建設募金」、継続

<2001-02>

- ・環境保全卓話3回；①原子力発電、②岡崎市の環境整備（ゴミ）
③宇宙から見た地球の大切さ（ビデオ）
- ・「新米山寮せきれいの郷建設募金」、継続

<2002-03>

- ・資源のリサイクル活動
 - ・書き損じ葉書、未使用テレホンカード：(社)「米山寮」へ
 - ・古切手、使用済みテレホンカード：(社)「市社会福祉協議会」

<2003-04、創立15周年記念事業>

- ・★秦梨小学校「里山再生計画への推進」 25万円寄贈

2004.1.20 卓話「里山再生計画ー環境問題への取り組み」

秦梨小学校長 神尾心一

- ・社会法人あおい（ホームワーク板屋作業所）
「知的障害者の自立の為の愛される施設造り」 25万円寄贈
- ・ミニ里親会（松野敏）；「施設で暮らす施設養護の子供たちに家庭の味を伝えるというボランティア活動」 25万円寄贈
- ・岡崎ラグビースクール（近藤正俊）；「ラグビーを通して青少年の体力向上と精神の育成への功績」 25万円寄贈

<2004-05>

- ・ “ロータリー100周年事業” 岡崎 4RC 合同プロジェクト
2005.2.20 額田町「おおだの森」記念樹実施

<2005-06>

- ・ 「岡崎城南 RC 省エネ共和国」 建国
(財)省エネルギーセンター (経済産業省助成)
- ・ 毎月第1例会をノーカーデーとする

<2006-07>

- ・ AED(自動体外式除細動器) の設置、拡大
- ・ 毎月第1例会をノーカーデーとする
- ・ 家庭に省エネナビ (電気料金表示システム) 設置

<2007-08>

- ・ AED(自動体外式除細動器) 訓練用機器各分区で1台ずつ購入
- ・ 省エネステッカーの製作

<2008-09 年度、創立 20 周年記念事業>

- ・ 岡崎市図書館交流プラザ ;
生涯学習に対する寄与、子供用図書 168 冊
- ・ 毎月第1例会をノーカーデーとする
- ・ AED(自動体外式除細動器) 取り扱い講習
- ・ 省エネ度チェック、省エネナビ設置

<2009-10>

- ・ 「環境標語優秀者」の選考・表彰 ; 2ヶ月に1度

<2010-11>

- ・ 環境教育賞授与
 - ・ 梅園小学校 ; 「伊賀川」を題材とした環境教育活動
「梅園クリーン作戦」
 - ・ 新香山中学校 ; 岡崎市教育委員会研究委嘱事業
「ササユリの保護活動」

<2011-12>

- ・ “RCC・共同奉仕” ；

主催； “菅生川を美しくする会” 代表者富田征也 1973 設立

梅園・根石・連尺・六名・三島・竜美丘 6 学区の住民組織

参加者； 岡崎 4RC、ライオンズクラブをはじめ各種団体、

事業所、市役所、市議会など計 31 団体総勢約 2,000 人

協力； 岡崎市

場所； 菅生川（一級水系矢作川最大の支流乙川の別称） 河川敷

日時； 9 月 11 日（日） 6:00-7:00

- ・ 第 20 回岡崎少年野球中学新人大会（岡崎城南 RC 旗争奪）

主催； 岡崎市軟式野球協会

対象； 中学校 23 校（岡崎市 19 校と幸田町 4 校）の中学 2 年生

受賞； 優勝： 幸田町立南部中学校

場所・日時； 岡崎信用金庫総合グラウンド、9 月 18 日（日）

歴史； 1992-93 年度第 1 回、1997-98 年度第 6 回城南優勝旗寄贈

- ・ 第 64 回岡崎美術展（岡展）； 応募 431 作品中、58 作品が受賞

主催； 岡崎市、岡崎市教育委員会、岡崎美術協会

対象； 16 歳以上の方（市内外を問わず）

日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン 7 部門

受賞； 岡崎城南 RC 賞： 洋画、野寺良平「・11・9-空」

展示； 岡崎美術館（明大寺町）、 10 月 21-30 日

表彰式； 岡崎商工会議所大ホール、10 月 30 日（日）

- ・ 第 40 回岡崎市民美術展（市民展）

主催； 岡崎市、岡崎市教育委員会

対象； 16 歳以上の方（市内在住・在勤・在学）

日本画、洋画、彫刻・工芸、書道、写真、デザイン 6 部門

（岡崎美術会員と前年度岡崎美術展受賞者は除く）

展示； 岡崎市美術館（明大寺町）2012 年 5 月実施の予定

- ・ 心と体を育む活動奨励； 市学校保健大会岡崎城南 RC 賞（予定）

- ・ 緑の羽（予定）

<ロータリーの支援する外国人留学生>

いずれのプログラムも、国際交流によって異文化への理解を促し、ロータリーの願う世界平和を追求するという点では一致している

1) ロータリー世界平和フェロー [R 財団]

世界平和の実現を目指して、ロータリーセンター

(世界で7大学6センター、日本では国際基督教大学)で、国際関係・平和・紛争解決に関する修士課程を学ぶためのもの。毎年100人くらい(世界枠)が選ばれる。

2) 国際親善奨学生 [R 財団]

大学生以上を中心とする留学プログラムで、他国へ留学して異文化を知り、友好関係を築くことで「ロータリー親善使節」として活躍することが期待される。

日本では派遣が多く、受け入れが少ない(2013-14年度変更予定)。

3) 青少年交換学生 [RI]

高校生を主とした「異文化体験」「ロータリー親善大使」を目的とする1年間の高校留学とホームステイ。来日学生は毎年150人余り(派遣数もほぼ同数)。毎年8000-10,000人の学生が参加。

4) 米山記念奨学生 [財] ロータリー米山記念奨学会]

日本独自の多地区合同奉仕活動として、在日外国人留学生の支援を行う(日本人留学生の派遣はない)。毎年800人の留学生が採用され、日本のロータリアンとの交流によって、将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となる人材を育てる。(規模13-14億円)

<米山記念奨学会の歴史>

①奉仕の人「米山梅吉」(1868-1946)

- ・大和国高取藩和田氏の三男として東京に生まれる
- ・幼少時父と死別、中学生まで母の故郷静岡県長泉町で過ごす。
- ・1883年(16歳)、上京、働きながら勉学に励む
- ・1887年、米山家に養子として入籍
- ・同年渡米(20歳)、8年間の苦学の留学生活を送る
- ・帰国後、文筆家を志し、勝海舟に師事
- ・三井銀行入行、常務取締役となる

②日本のロータリーの創始者

- ・1917年、政府派遣財政経済委員の一員として渡米
福島喜三次(三井物産現地法人支配人、ダラス RC のアディショナル正会員)のゲストとしてダラス・クラブの例会に出席
- ・1920年、福島はアルバート・アダムス RI 連合会長から日本に RC を年内に設立することを条件に特別代表の任命を受け、米山梅吉と共に奔走するもメンバーが集まらなかった。
- ・エスタス・スネデコル RI 連合新会長はパシフィック郵船横浜支店長ジョンストンを共同代表に任命して拡大の協力を命じた。
- ・1920年9月1日、設立準備会
- ・同10月20日、チャーターメンバー25名が集まって、銀行クラブで創立総会が開催され、東京クラブが誕生した。
- ・1921年4月1日、RI 正式認証
初代会長；米山梅吉(三井銀行重役)
幹事；福島喜三次(三井物産副支配人)、伊東米治郎(日本郵船副社長)、樺山愛輔(日本製鋼社長)、小野英次郎(興業銀行前総裁)
当初は例会は月1回、奉仕哲学には真摯であったが、クラブ組織としての管理運営は不十分であった。

- ・ 1923 年 9 月 1 日、関東大震災
- ・ 同 9 月 4 日には RI 会長ガイ・ガンディカーから励ましの電報
同 5 日、RI から 25,000\$震災復興資金送金の通知
世界 503 カ国のクラブより合計 89,800\$の義捐金がよせられた。
- ・ 全世界のロータリアンの友情と援助が東京クラブに大きな影響を及ぼした。東京クラブはこの義捐金で、東京・横浜の小学校に、備品寄贈、東京孤児院の新築（「ロータリーの家」と呼ばれたが、第二次世界大戦で焼失）、殉職警察官遺族の援助、産科病院再建事業を行った。
- ・ 東京クラブはこのロータリーの友情を契機にして、例会を毎週開催するように改めたとされている。

- ・ 三井信託株）を創立、取締役社長に就任
晩年、財）三井報恩会の理事長となり、ハンセン病、結核、癌研究の助成など多くの社会事業、医療事業に奉仕した。
はる夫人と共に私財を投じて小学校を創立した。
- ・ 1946 年 4 月 28 日、長泉にて死去
- ・ 1952 年、東京 RC は彼の功績を記念し、日本で学ぶ外国人留学生に対して支援を行う奨学制度を構想した。

＜ロータリー米山記念奨学会事業＞

全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学金事業である。

1) 特徴

①世話クラブ・カウンセラー制度

②日本最大の民間奨学事業

年間奨学生採用数およそ 800 人

事業費 14.6 億円 (2009 年)

累計 15,776 人 (2010 年 4 月現在)

出身国世界 119 の国

2) 寄付金

①普通寄付金；日本の全ロータリアンからクラブを通じて定期的に寄付されるもの

各クラブで決定した金額 x 会員数分を半期ごとに送金

2009 年度平均；4,517 円

②特別寄付金；個人・法人・クラブ（ロータリーも含める）から、普通寄付金以外に任意で寄付されたもの

2009 年度平均；9,958 円

3) 寄付に対する表彰制度

①個人寄付への表彰

累計額 10 万円毎に「米山功労者」；クラブ 36 名

(2010-11 年次報告書)

②法人寄付への表彰

③クラブの表彰

「米山功労クラブ」（すべての特別寄付金が対象）；

累計 100 万円毎に；

米山記念奨学会関係特別会計から特別寄付 10 万円

を含めて 34 万円 (2009-10 年度)

「達成クラブ」（普通寄付金・特別寄付金の合計金額が対象)

累計 1,000 万円毎に；18,755,500 円 (2010 年 7 月 1 日現在)

＜クラブの米山交換留学生＞

年	氏名・国籍	留学受入校	カウンセラー
94-96	ワン・イエン (王岩) 中華人民共和国	愛知学院大学大学院	中根啓弐
96-97	シュイ・シャオ・リン (許筱玲) 台湾	名古屋大学大学院	同前慎治
97-98	キョー・キョー・モー (Kyaw Kyaw Moe) ミャンマー	名古屋大学大学院	太田政信
00-01	岩村・アンジェラ・悦子 ブラジル	名古屋大学大学院	則竹國雄
01-02	ゴオ・ハイ・ドン ベトナム	豊橋技術科学大学大学院	細井正治
03-04	メイ・リン (梅琳) 中華人民共和国	名城大学大学院	杉浦節雄
07-08	ス・チン (斬欽) 中華人民共和国	名古屋大学大学院	岡田吉生

(年次計画書)

<ロータリー財団>

I) 財団寄付額 (2010.7.1.-12.31、RI2760 地区クラブ別一覧表)

・年次寄付；” 毎年あなたも 100 ドルを”

年次寄付は、寄付の基盤であり、使い道を指定することなく、ロータリー財団に寄付するもので、3年後に全額使われる。

本年度 6 カ月間の岡崎城南 RC の合計；5,519.51\$

(目標 75 人計算 7500\$)

100\$53 名、2010 年まで 1\$82 円 (2010.12.27 送金)

3 名、2011 年から 1\$84 円 (未送金)

RI 2760 地区 82 クラブ本年度 6 カ月間の合計；

499,831.39\$ (1\$84 円計算、41,985,836.76 円)

13 クラブが前期末納、これを除き 69 クラブとして

平均 1 クラブ当たり 7243.9\$

RI2760 地区会員数 4841 名、1 クラブ当たり平均 59 名

” 当クラブは会員数は多いが、年次寄付の集まりが遅れている。”

・使途指定寄付 (提唱者寄付金、ポリオ・プラス基金、

ポリオ・プラス・パートナー、

ロータリー・センター・プログラム寄付など)

あらかじめ使い道を決めて寄付するもの

ポリオ・プラスがその代表例で、経口ポリオ・ワクチンを世界で 20 億人以上の子供達に投与してきた。ポリオと共にハシカ、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の五つをプラスして同時追放を目的とする。ポリオはこのプログラムを開始して以来、現在 99% 以上ポリオ減少しているが、ポリオ根絶の成功の鍵を握るのは、残る 4 カ国 (ナイジェリア、インド、パキスタン、アフガニスタン) のポリオを迅速に撲滅できるかどうかにかかっている。

ポリオ・プラス・プロジェクト” ポリオ撲滅 1 億ドルチャレンジ”

ゲイツ財団より 1 億\$ (2007.11 月) + 2 億 5,500 万\$ (2009.1 月) の寄付があった。ロータリー財団は当初、2008 年から 3 年間の計

画で、ゲイツ財団と同額の 1 億ドルのポリオ撲滅チャレンジを開始し、寄付金の増額により、2 億\$のチャレンジとして 2012 年 6 月 30 日まで実施される。ロータリー財団は、総額 5 億 5500 万\$をポリオ撲滅活動に提供することとなる。

(ロータリー情報マニュアル 2010 より)

本年度 6 ヶ月間の合計 ; 253. 13\$

(長野哲也会長、恒久基金の 1,000\$の端数)

2010-2011 年次計画書ではニコボックスより 75,000 円の予定
1000 円会員数 75 人 (年度当初)

2008-2009 年度 ; 77,525 円 (ポリオ・プラス寄付)

2009-2010 年度 ; 76,840 円 (ポリオ・プラス寄付)

以上年次報告書より

2010-2011 年度 ; (事務局 2011.2.9 送金予定)

・恒久基金寄付 ;

最低限度のプログラム活動を継続し、将来の新プログラムまたはプログラムの拡張を容易にするために、寄付金は使用せず基金として積み立てておき、収益のみが 3 年後に使用される。

本年度 6 カ月間の合計 ; 1,000\$

(長野哲也会長、ベネファクターの認証)

II) 未来の夢計画

「年次寄付金」 + 「恒久基金の利息」

- ・国際ロータリー財団活動資金 WF ; 50%
- ・地区ロータリー財団活動資金 DDF; 50%

1) 2010-2011 年度新地区補助金の事例発表 (8 分区)

2) グローバル補助金の用件である「持続可能性」について

< 新世代「理科の実験教室」 >

2000-2001 年度（委員長千賀邦二）；「新世代委員会」の開始
2001-2002 年度（委員長山本剛司）；

2002-2003 年度（委員長松野敏）；発案者

「新世代に思いやりの心を育てる」

自らが考え自らが行動する力を養ってほしい

第 1 回；2003 年 2 月 15 日（土）、竜美ヶ丘小、理科実験室

広報；中日新聞、東海愛知新聞に掲載、事業費；100,000 円

2003-2004 年度（委員長佐々木靖史）

第 2 回；2004 年 2 月 11 日、広幡小、5-6 年生、50 名

講師；岡崎国立共同研究機構 基礎生物学研究所 長谷部教室

内容；生物の遺伝、DNA 抽出実験他

2004-2005 年度（委員長鈴木豊）；

第 3 回；2005 年 2 月 26 日、根石小学校 5-6 年生父兄、約 40 名

講師自然科学研究機構分子科学研究所、名誉教授木村克美博士

「分子の模型作り・空気の重さ・マイナス 200 度の世界その他」

2005-2006 年度（委員長天野賢一）

第 4 回；2006 年 1 月 27 日、三島小学校、

「理科体験教室（特別事業）」、

講師；自然科学研究機構分子科学研究所

2006-2007 年度（委員長牧勝）；

第 5 回；2007 年 1 月 29 日、六名小学校 6 年生 60 名

講師木村克美博士「分子の世界」

2007-2008 年度（委員長井上武彦）

第 6 回；2008 年 3 月 7 日、矢作南小学校 6 年生、化学マジック

2008-2009 年度（委員長磯部亮次）

第 7 回；矢作南小学校、

講師；愛教大教授・ゼミ生「化学の体験教室」

2009-2010 年度（委員長倉橋保）；

第 8 回；羽根小学校 4 年生 125 名

「わくわく科学実験教室」、実験科目 10 種類

（以上年次報告書）

2010-2011 年度（委員長足立修）；

第 9 回；「おもしろ理科実験教室」

①2011 年 2 月 24 日、福岡小学校 5 年生 77 人と教諭

「おもしろ理科実験教室」

講師；岡崎市理科教科指導員、荻須文裕教諭

「第一回化学技術に関する論文コンクール優秀作品賞」受賞者

②2011 年 3 月 9 日、城南小学校 5 年生約 80 人

「訪問科学実験教室わくわく 2010」

講師；岡崎市理科教科指導員、荻須文裕教諭

愛教大教授・学生の参加

（東海愛知新聞）

< 青少年プログラム >

新世代のための RI 常設プログラム

- ・ インターアクト (Interact) ;14-18 歳
- ・ ローターアクト (Rotaract) ;18-30 歳
- ・ ロータリー青少年指導者養成プログラム

RYLA (Rotary Youth Leadership Awards) ;14-30 歳

- ・ ロータリー青少年交換 (Youth Exchange)

指導力開発活動、奉仕プロジェクト、交換プログラムを通じて、
青少年と若者による望ましい変化を評価する。

＜地区 RYLA セミナー開催状況＞

回数	期日	担当分区 (ホスト)	開催場所
1	1993. 03. 13	西三河中 (岡崎東)	岡崎信用金庫本店・大樹寺
テーマ「歴史に学ぶ」			
2	1994. 03. 19-20	東尾張 (春日井)	愛知労働者研修センター
テーマ「21 世紀にはばたけ・・・青少年」			
3	1995. 03. 18-19	南尾張 (東知多)	愛知県美浜少年自然の家
テーマ「友達になろう」			
4	1996. 03. 16-17	西名古屋 (名古屋大須)	愛知県青少年公園
テーマ「自然に学ぼう」			
5	1997. 03. 15-16	西三河 (刈谷)	愛知県青少年公園
テーマ「救え・地球を」			
6	1998. 04. 04-05	東三河 (豊橋ゴールデン)	ホリディ・イン・クラウンプラザ豊橋
テーマ「新世紀と国際交流」			
7	1999. 03. 13-14	西尾張 (尾西)	愛知県美浜少年自然の家
テーマ「今、子供達が危ない」			
基調講演、10 分科会に分かれグループ討議			351 人
講師；平井真一 (豊川高校校長) 「今、子供達が危ない」			
8	2000. 03. 25-26	東名古屋 (名古屋千種)	県美浜少年自然の家
テーマ「地域社会とわたし」			
基調講演、8 分科会に分かれグループ討議			314 人
講師；ジョン・ギャスライト「二十一世紀は地球が主役！」			
9	2001. 03. 17-18	西三河中 (豊田西)	全トヨタ労働研修センター
テーマ「21 世紀は新世代のあなたが主役」 「つどいの丘」			
サブ・テーマ「みんなで考え、行動を起こそう」			
パネルディスカッション、10 分科会に分かれグループ討論			
コーディネーター：堀内守 (名古屋大学名誉教授)			379 人
10	2002. 03. 23-24	東尾張 (尾張旭)	愛知労働者研修センター
テーマ「ネット社会の中の私たち」			
			323 人
11	2003. 05. 17-18	西名古屋 (名古屋瑞穂)	

- テーマ「こわい親父、やさしいお母さん」 319 人
 基調講演、8分科会でグループ討議、愛知労働者研修センター
 講師：風間健 「こわい親父、やさしいお母さん」
- 12 2004.05.15-16 西三河 (知立) 知立文化会館
 テーマ「青春の声を聞かせましょう！」
 サブテーマ：「自ら気づき、考え、行動する」 283 人
 6 ホームルーム、青春の声発表会
- 13 2004.11.27-28 東三河 (豊川) 豊川閻妙巖寺
 テーマ「見つめ直そうマナーと言葉」
 基調講演、分科会に分かれてバトルトーク 306 人
 講師：佐藤満 「大人の常識と若者の常識」
- 14 2006.03.25-26 南尾張 (知多) 愛知県美浜少年自然の家
 テーマ「夢」サブテーマ：「夢追いし人は美しい」 315 人
 基調講演、分科会に分かれ討論
 講師：谷岡郁子（中京女子大学学長）「夢」
- 15 2007.03.24-25 西尾張 (尾張中央) 愛知労働者研修センター
 テーマ「将来の日本」、基調講演、分科会に分かれ討論
 講師：安田（薬師寺管主） 274 人
- 16 2008.02.23-24 東名古屋 (名古屋東山) 愛知労働者研修センター
 テーマ「自立」－守・破・離－、基調講演 6分科会で討論
 講師：近藤重助（タイガー総業（株）取締役社長室長）
 「守・破・離」 283 人
- 17 2008.11.08-09 西三河中 (岡崎城南) 愛知県岡崎青年の家
 テーマ「“絆”、家族とは、友人とは」
- 18 2009.11.14-15 東尾張 (小牧) 愛知県岡崎青年の家
 テーマ「礼節」
- 19 2011.02.26-27 西名古屋 (名古屋中) 愛知県岡崎青年の家
 テーマ「夢をかたちに」
- 20 2012.02.25-26 西三河 (三河安城) 愛知県岡崎青年の家
 テーマ「幸運は天から降ってはこない」以下未定

＜新地区補助金＞

「未来の夢計画」は、ロータリー財団が 2017 年に創立 100 周年を迎えるにあたり、奉仕の第二世紀に移行するための計画として立てられた。

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。

「世界でよいことをしよう」という新しい標語が、ロータリー財団管理委員会、RI 理事会、規定審議会によって承認された。

未来の夢計画の主たる目的；

- ・手続きを簡素化し、地域ニーズに迅速に対応する。
- ・世界の優先的ニーズに焦点を絞り、持続可能で大規模なプロジェクトを推進する。
- ・奉仕の成果をもっと確実なものにする

パイロット地区による試行期間；2010-11 年度から、3 年間試行
新補助金制度のスタート；2013-14 年度から全世界で完全実施

新地区補助金の全般的基準と条件

①基準

- ・すべての新地区補助金は、ロータリー財団の使命を守ること。
- ・ロータリアンの直接参加を含むこと。

②条件

- ・補助金を律する条件を守る
- ・財団または RI に補助金授与以外の責任を負わせないこと
- ・法令を守り、個人または団体を傷つけないこと
- ・承認された活動だけに資金を使うこと

完了または開始したプロジェクトには補助金を授与しないこと

- ・補助金参加者について定められている Conflict of Interest (利害の衝突) の方針に従うこと
- ・ロータリー・マークを適切に使用すること